



令和7年(2025年)4月9日(水)発行

第58回入学式 式辞

札幌市立栄中学校長 三浦 英悟

春の日射しが心地よく感じられる本日の佳き日、パートナー校の校長先生をはじめ地域の皆様、PTA会長の駒澤 尚忠 様をはじめ役員の皆様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、札幌市立栄中学校第五十八回入学式を挙行できますことを感謝申し上げます。壇上からではございますが、心より厚くお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、改めて、栄中学校への入学、おめでとうございます。中学校の全教職員、皆さんの入学を楽しみに待っていました。

今、新入生のみなさんは、希望と不安の入り交じった気持ちで、いっぱいだと思います。栄(さかえ)中学校の先生方や二、三年生の先輩も応援してくれますので、何も心配はいりません。安心して明日から登校してきてください。

また、みなさんは、勉強や部活動、新しい友達づくりなど、何かに挑戦しようと考えていることと思います。やはり4月は、芽吹く春などと言われるように、このような気持ちが自然と湧き起ってくる季節だと思います。

農作物をつくるときに、いつ種をまくのか、時季を考えなければなりません。種をまくときには、それぞれに最適の時季があります。それは、作物によってそれぞれ発芽するのに適した温度が違うからです。種をまく時季によって、成長が遅れたり、うまく育たなかったりすることもあります。作物にとって最適な時季があるように、みなさんの成長にも最適な時期があると思います。それは、心や体や脳の成長の度合いが違い、中学生のこの時期の成長はものすごく大きいからです。

そのため、中学生の3年間は、人生の種まきに最適な時期だと私は考えています。この大切な時季にどのような種を、どのようにしてまくのが大切です。種は誰かがまいてくれるものではありません。自分自身で考えて種をまくことで、更に自分の可能性を伸ばすことができると思います。

新たな気持ちで、栄中学校での生活をスタートするにあたり、自分の道を自ら歩んでほしいことを願い、評論家である古谷 綱武(ふるや つなたけ)さんの詩の一節を贈りたいと思います。

◇道はすべての人の前にひらかれている。しかし、自分が生きていくべき人生は、自分で発見していくよりほかはない。

◇道はすべての人の前にひらかれている。しかし、生きがいと幸せをつかむ、その鍵は、自分の心の姿勢の中にだけしかない。

◇道は、すべての人の前にひらかれている。しかし、絶えず、知ろう、学ぼう、考えよう、とする意欲をもたなければ、人はその自分の人生の道を、歩き進む力を 失うであろう。知り、学び、考えていくことが、自分の人生の道を歩いていくことだからである。

このように、道はすべての人の前にひらかれています。あとは自分の意志次第です。中学校三年間、多くの人との出会いを大事にして、多くを知り、自ら学び、仲間と考えることを大切に、自分の道をひらいていきましょう。

皆さんは今から、この栄中学校の一年生です。本校の学校教育目標は、「吾(われ)あり 仲間あり 学びあり」です。

「吾」とは、自分の可能性に挑戦する、三つの自分の姿を表しています。具体的には、

◇夢の実現に向けて努力する「吾」、

◇自分を大切にする「吾」、

◇相手も大切にする「吾」、

であってほしいとの願いをもっています。

この三つの「吾」を目標として、失敗を恐れず、「まず一步」前へ踏み出す勇気を奮い起こしてみましょう。

皆さんの周りには、仲間や家族、先生方、たくさんの応援者がいます。安心して挑戦して下さい。

結びになりますが、保護者、ご家族の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学生の三年間で心と体が大きく発達する時期となり、そして三年後には自立の時を迎えることとなります。学ぶ力を育てることは勿論のこと、人間関係をつくることや社会生活のルールもしっかりと守れる力を育ててほしいと考えています。変化の激しい現代を、子供たちが、大きく健やかに成長するために、ご家庭との連携を大切に、教職員一同、力を合わせて一生懸命努めてまいります。本校の教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、今この時から、自分の手で、そして、自分の足で行動し、成長していきましょう。皆さん一人一人の輝かしい中学校生活を期待して、入学式の式辞とします。

新 入 生 代 表 の 言 葉

1年1組 Y.H.

四月になり、陽の光が差し込み、日に日に暖かさを増してきました。
春になり、希望を胸に私たちは、栄中学校に入学しました。これからの学校生活に不安もありますが、先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、成長していきたいです。
そして先生方、これからは、先生方の温かいご指導により、しっかりと学び、多くのことを吸収していきたいです。
そして、保護者の皆様、これまで支えていただきありがとうございました。これからも何卒、私たちの成長を見守っていただければと思います。
中学校では、部活動や勉強など、小学校よりもレベルが高い新しい体験ができることを楽しみにしています。私たちは栄中学校の一員となり、先輩方や先生方、保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れずに大きな夢と希望を胸に、仲間とともに素晴らしい学校生活を送ることを誓い、新入生代表の言葉とします。

在 校 生 代 表 の 言 葉

3年2組 S.S.

春の花が色とりどりに咲き、暖かい春の日差しが校舎を照らす季節となった今日、栄中学校へ入学される新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
ここにいらっしゃる皆さんは、これから始まる新たな生活に期待や不安を抱きながら今日を迎えたことでしょう。初めての中学校生活では、分からないことや不安なことがたくさんあると思います。二年前の私たちも同じ気持ちでした。そんな時は皆さんの周りにいる仲間、先輩を是非頼ってください。きっと皆さんの力になれるはずです。
さて、小学校と中学校では異なる点がたくさんあります。それは、学習や部活動、委員会や行事を自分たちの力で取り組む機会が増えるという点です。1から自分たちで案を出し企画して、実行します。例えば学校祭ではクラスの皆と案を出し合い、1つの作品を作り上げます。また球技大会では学年ごとに、クラス対抗で戦います。どちらの行事も仲間と協力することが大切になります。最初は自分たちの思うようにいかず、悩み、時にはお互いの意見がぶつかることもあると思います。それでも試行錯誤を重ねることで、絆が深まり、皆で一つのことを成し遂げる楽しさを学ぶことができます。そして一年生には校外学習という行事もあります。クラスや班の仲間の新しい一面を知ることができ、仲が深まると思います。中学校ではそんなことを通して、成長できる機会がたくさんあります。
栄中学校で過ごす三年間では、楽しい事や嬉しい事、そしてつらく苦しい事などたくさんの経験をしたいと思います。ですがどんな時でも自分を信じ、互いに支え合って前に進んで行ってください。そして、栄中学校の生徒として笑顔で中学校生活を送ってほしいです。私たちと一緒に頑張りましょう。
最後になりますが、新入生の皆さんの今後のご活躍を心からお祈り申し上げ祝辞とさせていただきます。

令和7年度 1学年 担任・副担任一覧

年	学級	学級担任	教科	副担任	教科	学級
1年	1組					
	2組					
	3組					
	4組					
	5組					
	8組					

4月の主な行事予定

10 (木)	学級写真撮影・部活動見学紹介①	18 (金)	ワーク販売・部活動見学紹介④
11 (金)	部活動見学紹介②	23 (水)	学校公開日 (5・6時間目)
15 (火)	新入生歓迎集会・学校公開日 (5時間目)		前期認証式・委員会、局会、学年協議会
16 (水)	全国学力学習状況調査① (3年)	24 (木)	部活動集会
	P T A総会・体育文化振興会総会	28 (月)	いじめアンケート
17 (木)	全国学力学習状況調査② (3年)	30 (水)	全校協議会・議長講習会
	部活動見学紹介③		